

リビア観光

平成21年5月
在リビア日本国大使館

リビアは北アフリカに位置し、北は地中海に面し、南にはサハラ砂漠が広がっています。

リビアには、5つの世界遺産があります。そのうち3つは美しい地中海に面するギリシア・ローマ遺跡です。首都トリポリから東へ120キロ離れたレプティス・マグナは北アフリカ最大級の遺跡で、保存状態もよく、凱旋門やローマ劇場の他、美しい彫刻を遺跡のあちらこちらに見ることができます。首都から西へ70キロ行った所にあるサブラータ遺跡を訪れると、ローマ劇場や繊細なモザイクと彫像があり、どれも見ていて飽きません。

リビア第2の都市ベンガジからさらに東に行くと、緑の山地があり、ここにも多くの遺跡が残っています。その中の一つセイリーン(シャッター)は世界遺産にも登録されていて、地中海を見下ろす崖の上に位置しています。リビアの遺跡を訪れて、かつてのギリシア・ローマ人の栄光に想いをはせてみるのはいかがでしょうか。

遺跡だけがリビアの観光名所ではありません。リビア西部に位置するガダーメスはサハラ砂漠に浮かぶオアシス都市ですが、旧市街には迷路のように通路が入り組んだ建物が連なっています。灼熱の太陽から住人を守るようにできた白いレンガ造りと室内の赤い装飾は、神秘的な雰囲気漂わせています。10～11月に開催されるガダーメス祭りの際は、街は観光客で賑わい、街中が歌と踊りに包まれます。

砂漠ツアーも魅力的です。砂漠の中をオフロード車で進み、夜はキャンプで宿泊します。砂漠ツアーでは、オアシスを巡ったり先史時代の壁画が残る岩場を訪れたりすることができます。世界遺産に登録されたアカークース山脈は、岩画の数と種類が豊富で、特に動物の絵が多く描かれていて、砂漠もかつては緑豊かな草原であったことを物語っています。

未知の国リビアを堪能するには、当地では個人旅行が許可されていないため、旅行社が主催するツアーを是非ご利用下さい。



セプティミウス・セウェルス門（レプティス・マグナ）



動物の壁画（アカーケース山脈）

[渡航情報](#)